

ありて

御前は忘れたのか、一度ではない二度であつた、と仰せられました、如何にも御正直に渡らせらるゝことで、苟くも母君を欺き奉らぬといふ御思召、試に結構な次第でございます。(以下次號)

いまでも映き匂ふらん橋の
こじまのさきの山吹のはな



説
林

兒童の道德的訓練 (三)

黒田定治



命令の遵奉に伴ふて賞罰の制裁あり賞は兒童の快感を高めて其の良行を奨励せんとするに在り罰は兒童が命令を忘れ或はこれに抵抗するときに苦痛を與へてこれに従順を強ゆる消極的手段なりとす。

古來賞罰に關して學者其の説を異にし或は其の無効有害を説くものあり或は其の効力を説くもの

ありと雖もこれを兒童一般の性質に顧みるも賞罰は決して無効有害のものにはあらずもし賞罰に道徳的弊害ありといはゞ是れ賞罰其のものゝ上に存するにあらずして其の方法の上に存すといへるツイツの説に我等は同意するなり。

實際賞罰には幾多の種類あり幾多の度合あり其の種類と度合によりては或は弊害を生ずべければ父母又は教師は如何なる場合に如何なる種類のものを取り如何なる度合に於てこれをなすべきかを決定することに深く注意するところなかるべからず。

實際賞にも罰にも種々あれども其の内にては兒童の道徳の自然的感情に訴ふるものは賞讃と叱責なりとす賞讃と叱責は其の性質に於ても其の結果に於ても道徳的なればこれを親權又は教權執行

上の道徳的制裁なりと稱することを得べし、然れども兒童は只此の道徳的制裁によりてのみ従順となるものにあらざれば更に賞與體罰のこぞき物質的制裁を加へて其の權を確定するの必要を生ずるに至るなり而して此の物質的制裁が道徳的制裁を強むるに必要なるだけの限界に止まらずして尙これを越へて行ふときは不道徳的となり壓制的となるなり物質的賞罰は一層深く注意するところなかるべからざるなり。

賞讃は兒童の効績を認むることにして兒童はこれによりて快樂を感ずるのみならず兒童は日々の經驗によりて自己の安全幸福は父母教師等の賞讃を得るに頼ること甚だ大なるを知りて益々これを得んとするに至るものなり。

實に親切なる面貌慈愛を含める眼容と雖ども兒

童の精神を鼓舞し善に向つて進せしむるに足るものなり況んや自己が敬愛せる父母教師の口より出づる賞讃の効力の大きなるものあるや素より明らかなり只僅かに「可なり可なり」「然り然り」のごとき簡單なる讃詞も非常なる効力を兒童の心情の上に及ぼし得るは吾人の經驗これを證して餘りあるべし。

兒童が父母教師の賞讃を得んとするは兒童に取りてはまことに自然にしてしかも正當なるなり兒童は身體上の事即ち衣食住等につきて他人の補助を待たざるべからざるがごとく智徳上の事も亦他人に依頼せざるを得ざるなり幼時に在りては兒童は自己の言行の善惡是非につきて自ら獨立の判断をなすこと能はずして常に他人に依頼して其の評價を待つものなりさればロツクが説きしごとく兒

童が自から判断し得るまでは他人の賞讃に兒童のために安全なる嚮導にして且つ獎勵となるものなり他人の賞讃を得んがためには必ず幾分か他人に對して尊敬の念を有せざるを得ざるべく且つ又自己が如何に行爲せば他人を喜ばし或は他人の氣を損する等自から顧みて謹しむところあるべければなり。

然れども賞讃の眞正の價値を計らずしてみだりにこれを得んとするに至れば道德止尤もいやしむべきものゝ一にして其の結果は兒童をして價値なき事を誇り自己よりまさるものを嫉み不幸のものをも凌ぎ劣者をも駕し其の極俗人物の賞讃をも渴望し遂には獨立の精神を失ひ只他人の評價によりてのみ事を計らんとするの悪習慣を作り全く其の性質を腐敗せしむるに至らん然れども父母教師

の如き長上者の賞讃の價值を了解してこれを得んと務むるは兒童の心意を高尙にして道德上有効のものなり。

されば父母教師は其の賞讃をみだりにして單に賞讃を得んがために行爲するに至らしむることを防がざるべからず父母教師の賞讃は素より寛大にして偏頗なきを要するもしかも又嚴正にして惜むところなからざるべからず父母教師は兒童の善行を見て不思議なりと怪しむが如き有様にて賞讃すべからず悪行は普通にして善行は稀なるが常なりとするが如き感あらしむべからず世の父母教師の中には兒童の善行を見て「汝がこれをなし得たるか」と驚き怪しめる態度を以てするもの尠からず謹しませざるべからざるなり。

物質的賞與は其の賞品の性質と兒童の性質とに

よりにて下等の情に訴ふることゝなるものなり兒童の性質利を得るに強きときは唯其の賞品の實價のみを重んじてこれを得んことを務め利益心を刺戟するのみに止まり道德上の義務法則の念を養成することなかるべしされば賞與するに當りては深く注意を加へて只父母教師の賞讃即道德的制裁を強むるだけの範圍に止めざるべからず。

賞品は兒童の生長するに従ひ其種類を變じ且つ之を賞與する度数を減せざるべからず菓子玩具等は幼兒に適するも稍年齢の長せるものには適せざるべし學齡兒童には其の平素の勤勉品行を査定してこれを表彰し且つこれを將來に持續せしめんが爲めには適當なる書籍教具を與ふるは可なるべく金錢を賞與するは貪慾心を刺戟するに止まりて毫も益なければ全然廢すべきものと信す又兒童の善

行の賞として土曜日又は日曜日に父母教師が兒童を同伴して動物園に趣き博物館を見或は近郊に散歩を試むるがごときは最も適當の褒美ならんか。

女子の特性を發展せしむべし

澤 生

稀に除外例として、筋骨逞しき女性なさに非ざれど概して骨格を以て論ずれば、女性は一般に男性に比較すべくもならず、時に板額巴御前の類なきに非ざれど、其體力を以て論ずれば、女性は決して男性の對敵に非ず、幽邃深遠の智識を以て比較すれば、今古東西を通じて概して女性は男性に及ばざる觀なきに非ず、果斷敢行の意志に於て比較すれば、女性は亦概して歩を男性に譲るとある

は事實なり。約言すれば女性は男性に比して、纖弱なり、溫和なり、弱く見ゆるなり、脆く見ゆるなり、然り、女性は果して眞に斯の如く脆く且弱きものなるか。

暴戾酷薄の君主も、下情を汲みし夫人のおとなしき諫言によりて、慈仁敦厚の君主と改まりし例あり頑迷殘忍の重罪の再三犯者すら、出獄の後、一朝家庭を造りて頓悟改悛し、全く其性格を變じて敦厚の人となりし例あるに非らずや。然らば即ち女性は、強ち男性中の最も強情冷酷なるをすら醇化せしむる一種の力あるものなり。

やさしき姉の激勵によりて、平生優柔不斷の弟が敢然として永き戰爭に従事して雄々しく敵鋒に仆れしものあり、なつかしき母を見舞はむ爲に、單身敵の哨兵緖を潜りて暴風雨にまぎれて英吉利